



まちづくりかわら版

◇話題満載のHP! ⇒ <http://www.himesen.com/>
 こちらもご覧ください。(右下にスマホ用リンク・QRコード有)

himesen 検索



特定非営利活動法人 歴史と出会うまちづくり船場城西の会

事務局●下山裕史 〒670-0035 姫路市琴岡町 266-1 tel:090-3351-7965 fax:079-296-0738



船場城西地区 ↑↑まちあるき!

6月16日(火) コロナ対応自
 粛していた定例会を約4か月ぶ
 りに開催しました。



6月26日(金) 船場小学校6年生を対象に地区の史跡や老舗を
 巡るまちあるきをしました。県の補助金を活用し、当会で作成した
 ガイドブック「船場城西逍遥指南之書」(下記)を使用しました。



旧飾磨奉行跡

1671年(明和4)、姫路藩(のち幕府)が姫路城内の重宝所庫に
 移設された。姫路藩の政務を司るため、1796年(明和9)、
 新野村に建てられた。ところが翌年、政府の方針で幕府の
 武士・兵衛への移転が決定された。移転はその後、市会職、
 市役として1914年(大正3)まで使用された。



黒人町とごぎり横丁

城下町成立後の江戸時代初期に作られた町ひとつで、この町は
 商人・職人・足軽に定住して農夫がいたため商人町と呼ばれる
 ようになった。町並みは江戸町並みのようにシブシブと並んで
 いる。町並みは、その町並みについて、町並み保存会が、一帯的に保
 護を守るための活動として考案されたことされている。



景福寺

景福寺(唐招提寺)。各地に建立の景福寺が建てられた。1754年より
 江戸参府の御用所。景福寺が御用所より移転し御用所となる。境内は
 景福寺と子らの墓石が並ぶ。山門の王像一列は健康の守護。山
 門裏や古堂の中にも鎌倉室町時代の仏像が多数安置されている。山
 上には江戸時代以前に建てられた、船中平助の墓所がある。(下掲写真参照)



見星寺

見星寺(唐招提寺)。各地に建立の景福寺が建てられた。1754年より
 江戸参府の御用所。景福寺が御用所より移転し御用所となる。境内は
 景福寺と子らの墓石が並ぶ。山門の王像一列は健康の守護。山
 門裏や古堂の中にも鎌倉室町時代の仏像が多数安置されている。山
 上には江戸時代以前に建てられた、船中平助の墓所がある。(下掲写真参照)



砂川漆工芸

元禄時代からの伝統の漆工芸。慶長時代から約40年にわたる
 漆工芸の歴史。漆工芸の技術を活かし、漆のたんばりをはじめと
 する漆の様々な用途に活用されている。その数は180
 0を超えている。タイミングが合えば、漆の塗り直しなどの作業
 を見学することも。



吉田町と橋屋味噌店

吉田町の町名由来は、赤田藩政が姫路藩初代藩主として三浦藩
 藩主から移った。ひいおの商人や職人を連れてきたことに
 由来したとされている。橋屋味噌店は、橋屋味噌店のものを
 一軒として今に残る貴重な商家であり、味噌、醤油、甘酒の製造販
 売を現在も継続している。



景福寺山上からの眺め

1866年(慶応4) 正月、藩政の廃れの中で船場城は降伏し、無血
 降参する。その際に官軍(幕府軍)による砲撃が行われた場所
 である。2017年(平成29)、姫路城天守閣復元を記念して
 の観光自衛隊ブルーインパズ(舞臺)飛行機をきっかけに写真映
 射スポットとして知られるようになった。



船入川

長慶橋の下を通って船場川と合流する船入川は舟物の積み下ろし
 場や船乗り場であった。現在もその名残が残り、川沿いの児童公園として使われてい
 る。往時は木橋が架けられ、船場の船乗り場や舟乗り場を兼ねて
 いた。渡し場などもあった。



船場城西地区 ♣♣まちあるき2



6月29日(月) 26日に続き、
 船場小学校の児童たちと本徳
 寺や行在所などを回りました。

第76回◆◆ ◆◆船場御坊楽市



7月5日(日) イベント自粛が
 緩和され、4か月ぶりの楽市を
 開催しました。

2020年 活動予定

◇船場御坊楽市の開催

令和2年9月6日(日)、12月6日(日) 時間 朝9:00~昼12:00

◇まちあるき

令和2年10月25日(日) 朝9:30~午前中 姫路駅中央改札前集合

会費納入のお願い

令和2年度分の年会費(1000円)の納付をお願い致します。

事務局への持参、楽市受付、又は振込で

振込先/播州信用金庫 船場支店 (普)8977591

特定非営利活動法人 歴史と出会うまちづくり船場城西の会

(船場城西の会 HP スマホ用リンク・QRコード) ⇒



船場城西の会 HP

会員・スタッフ募集 定例会を一度のぞいてみませんか。(西新町スペースラボ北棟Bにて毎月開催。詳細は事務局まで)

船場・城西－温故知新

シリーズ(20) ・昭和 30～40 年代の●岡町、●材木町

毎号に少しずつですが、昔の船場・城西周辺の景観写真や地図等、往時を今に伝える史料を掲載しています。姫路はお城以外にも多くの歴史が詰まった街です。私たちの街の歴史がわかると、今の街並みをもっと輝いて見えてきますよ。



写真_A 岡町



写真_B 材木町



まちづくりかわら版では、兵庫県立歴史博物館所蔵の高橋秀吉コレクションの写真を中心に、昭和30～40年頃の船場・城西地区各町の様子を順次紹介していきます。半世紀前の船場・城西の町がどんな様子だったのか、町にどのような歴史があったのか、現在の町の様子と比べて思いを巡らせてみて下さい。

・写真_A 岡町 (昭和43年7月/岡町から北望:今井診療所の前)
 写真の溝の向こうにあるのは当時広い敷地に建っていた「今井診療所」です。その後、道路は拡幅され、診療所のあった場所は時代の移り変わりとともにガソリンスタンド、眼科医院と変わりました。また、この付近には裁判所があったため、道路と景福寺山の間には、何軒もの代書屋さんがありました。

・写真_B 材木町 (昭和44年7月/市ノ橋の西詰から東望)
 写真中央部分に船場川に掛かったアーチ形状の市之橋上部が写っています。当時は土手から川や堀に降りられ、この橋のまわりでは、フナやザリガニ捕りなどの水遊びをする子供たちで賑わっていました。紙面作成・編集:原 隆 校了:下山裕史